

道志水源林ボランティア募集



横浜市水道局キャラクター
「はまピョン」

横浜市が保有している5つの水源のうち、道志川は横浜市独自の水源です。
この水源を守るため、水道局はNPO法人道志水源林ボランティアの会と
協働で間伐などの森林整備を行っています。
私たちの生活に欠かせない水を守るために、一緒に森を守りませんか。



ボランティア活動に参加する

NPO法人道志水源林ボランティアの会では年間13回ほど、道志村で間伐などの森林整備を行っています。「入会してみたいけど、どんなことをするのか分からない…」「木を切るのは大変そう。自分の体力でできるかな…」など不安のある方に向けて参加費無料の体験活動を行っています。経験豊富なインストラクターが丁寧に指導しますので、無料体験に参加して、森林浴をしながらいい汗を流してみませんか。

詳細はNPO法人道志水源林ボランティアの会へお問い合わせください。

▲ 道志水源林ボランティアの会

〒231-0031
横浜市中区万代町3-5-8 大久保ビル 402号
TEL・FAX 045-664-3972

[道志 ボランティア 検索](#)

※受付時間は原則毎週火曜日・木曜日13時～16時
(11～2月は火曜日のみ)



無料体験実施中!



ボランティア活動の財源をサポートする

直接ボランティア活動に参加できない方にも水源林保全の取組に協力していただけるよう、ボランティア活動の財源として活用している「横浜市水のふるさと道志の森基金」を設置しています。道志川の清流を次世代の子どもたちへ引き継いでいくためにも、皆さまからの温かい寄附をお待ちしています。

詳細は、横浜市ウェブサイトをご覧ください。 [道志 基金 検索](#)



山梨県道志村の水源林が

横浜においしい水を届けています

水源林は別名「緑のダム」とも言われ、水を貯え、浄化し、洪水を緩和する機能があり、CO₂を削減する効果も持っています。かつて、横浜の水は港を出る船乗りたちから「赤道を超えても腐らない」と称賛されました。

水道局はこの貴重な水源を維持するために、大正5（1916）年から山梨県道志村に水源林（公有林）を所有し、現地に設置した水源林管理所が計画的に維持管理を行っています。



一方、民有林の一部は人手不足等で管理が行き届かず、水源かん養機能の低下が心配されています。

そこで、市民ボランティアの方々と協働で森を再生させるための整備活動を行っています。

活動は、「横浜市水のふるさと道志の森基金」でサポートされています。



道志の水が横浜にやってくるまで

